

防災資機材備蓄・避難所研修会について

1. 防災備蓄

最大想定避難者数の3日分の備蓄食糧を確保するため、不足している2日分の食糧と飲料水を4年間で増強します。なお、購入した備蓄食糧は災害協定を締結している佐川急便株式会社に管理を委託し、災害時には迅速に輸送できる体制を構築しました。



【アルファ化米・パン 6,760 食】



【飲料 500ml 9,024 本】

また、能登半島地震の教訓を踏まえ、最大想定避難者数の3日分のトイレ環境を確保するため、携帯トイレの備蓄を増強しました。



【携帯トイレ 50,000 回分】



【1箱 100 回分セット】

2. ドローン配備

令和6年9月6日、瑞浪ロータリークラブ様からドローン3機の寄附を受け、防災を担当する危機管理課、土木課、消防本部に配備しました。有効に活用できるように現在7名の職員がドローンの国家資格である二等無人航空機操縦士を取得し、訓練を実施しています。



【ドローン贈呈式】



【ドローン操縦訓練】

3. 避難所研修会

令和2年度以降、災害時に避難所開設・運営を担当する市職員に対し、これら備蓄品を活用した避難所研修会を実施し、避難所開設の対応力向上を図りました。

【日時】 令和8年1月16日（金）

【場所】 日吉コミュニティーセンター



【パーティションの設置】



【段ボールベッドの組み立て】